

(社)地盤工学会 室内試験規格・基準委員会
「平成19年度 第5回 議事録」

日時	平成20年1月24日(木) 10:30~15:30		場所	地盤工学会地下会議室	
委員長	後藤 聡		幹事	豊田 浩史	
幹事	川崎 了		委員(WG1)	杉井 俊夫	
委員(WG1)	細野 高康		委員(WG2)	川口 正人	
委員(WG2)	太田 岳洋	×	委員(WG3)	渡部 要一	
委員(WG3)	山本 肇	×	委員(WG4)	仙頭 紀明	
委員(WG4)	畠山 正則		委員(WG4)	上原 真一	
委員(WG5)	大窪 克己	×	委員(WG6)	平井 貴雄	
委員(WG7)	三谷 泰浩	×	委員(WG8)	石川 達也 (三浦 清一)	
委員	小橋 秀俊				

:出席 :代理出席 ×:欠席

議事録担当:豊田浩史

配布資料:

- 資料番号なし:平成19年度第5回室内試験規格・基準委員会議題書
- 資料19-5-1:平成19年度第4回室内試験規格・基準委員会議事録
- 資料19-5-2:室内試験規格・基準委員会名簿
- 資料19-5-3-1:WG1関係 基準見直し・改正資料
- 資料19-5-3-2:CEC試験法 WG案
- 資料19-5-3-4:JGS基準のJIS書式化作業チェック表(WG4担当部分)
- 資料19-5-3-7(1):「岩盤不連続面の一面せん断試験方法」基準案(JIS対応版)
- 資料19-5-3-7(2):「岩盤不連続面の一面せん断試験方法」基準案の英訳
- 資料19-5-4-4:WG4 岩石軟岩の三軸試験方法目次検討資料
- 資料19-5-4-6:WG6 ジオシンセティックス関連目次案
- 資料19-5-5:圧密試験における平均圧力に関する問合せについて(回答)
- 資料19-5-6(1):平成19年度第4回基準部会議事録
- 資料19-5-6(2):平成19年度第5回基準部会議事録(案)
- 資料19-5-7-4:WG4 岩の試験方法解説執筆会議議事録
- 資料19-5-8:室内試験規格基準委員会予算執行状況表
- 資料19-5-9:赤本の改定作業に関する編集工程
- 資料19-5-10:編集工程(修正版)
- 資料19-5-11:室内試験規格・基準改定状況表
- 別添資料1:公示文と規格・基準案

議 題：

【審議事項】

(1) JGS 基準の見直し・改正について

WG1：

JGS 基準の JIS 書式化の進捗状況が説明された。今回、JGS 0122, 0132, 0142, 0151, 0162, 2110, 2132, 2134 の改正案が示された。全体に関する修正意見は以下の通りである。

- ・特別な理由がある場合を除いて、序文を新たに作成する必要はない。
- ・「3 用語及び定義」において、項目 3.1, 3.2, 3.3・・・の後に改行が必要である。
- ・JIS 書式に合わせるが、書くべき内容は違っていても良い。例えば、「8 報告」において、「本基準と部分的に異なる方法を用いた場合は、その内容」や「その他特記すべき事項」は残しておいて差し支えない。
- ・引用する規格及び基準に発行年の表記は必要ない。また、同じ規格と基準が存在する場合は規格を引用する。
- ・「2 引用規格及び基準」という項目名で統一する。
- ・図中に説明文が入る場合は、図中に「注」として説明文を入れる。
- ・修正一覧表については、書式以外の変更があったものについて記載する。

WG2：

基準の JIS 書式化を進めている。新規制定基準案「土の有効陽イオン交換容量 (CEC) の測定方法」が示された。指摘事項を修正し、公示文を作成する(次回もしくはメール審議)。次回基準部会に上申する。

WG3：

JIS 規格の公示結果を待って、これを JGS 基準とする予定である。

WG4：

JIS 書式化の進捗表が示された。使いやすさを考えて、土と岩は分ける予定である。

WG7：

新規基準「岩盤不連続面の一面せん断試験方法」の公示結果及び会員からの意見に対する修正案が示された。書式の修正が指摘され、これはメール審議とする。英文基準に関しては、ネイティブチェックを行う。所定の書式の公示結果を作成して基準部会に上申する。

(2) 解説の目次案および原稿案について

WG1：

WG 内で、2 月末までに解説案を提出していただくことにしてある。

WG3：

それほど大きな内容変更はないが、透水や定ひずみ圧密試験に関して、新しいことを入れる予定である。

WG4：

岩関係は、三軸試験関係の解説を 1 つにまとめる。土は、それほど大きく変わらな

いが、最新の手法などを取り入れて解説を執筆する。

WG6：

目次案が示された。以前の原稿からかなり変える必要がある。データシートもなるべく作る方向で考えている。

WG7：

解説案を1月末までに執筆し、査読・修正後は3月末までに完成させる予定である。

WG8：

解説執筆中であり、火山灰質粗粒土については、新たに解説を執筆する必要があるが、7割程度出来ている。3月のはじめに第2回WGを開催予定である。他のWGの規格・基準を引用することになるが、大きな変更はないようなので、問題なく解説を執筆できる。

(3) Q & A 関係

会員からの質問に対する回答案が示され、この案で回答することとした。単純な質問に対しても丁寧に答える必要があるのかについて疑問が出された。

(4) その他

赤本のタイトルについて議論した。「地盤材料試験の方法と解説」を第一案として、基準部会でも審議していただくこととした。

英文基準を学会英語HPにリンクさせて自由に閲覧できるようにする。次回基準部会に上申する。

今後、多くの原稿が出てくることになるが、情報の管理が必要である。幹事会で共通のフォルダの作成や解説の査読のやり方について提案することとした。

[報告事項]

(1) 国土交通省への訪問の報告

後藤委員長より、JIS改正の工程説明のため、監督省庁である国土交通省を訪問したことが報告された。

(2) 基準部会の報告

豊田幹事より、基準部会の報告がされた。現在のところ、委員会関係のことは問題なく承認されている。ISO/TS規格の定期見直しを行う必要があり、ISO国内委員会より、関係委員会に日本の規格・基準との間に問題となる差異がないか確認して欲しいという依頼があった。今後ファイルを送付するので、関係WGで確認を行うこととした。

(3) WGの活動報告

審議事項(1),(2)に示すとおりである。

(4) 今年度予算の執行状況

予算の執行状況が報告された。一般会計についてはすべて使い切り、現在、刊行事業特別会計より支出している。なお、刊行事業特別会計については、残しても問題ないため、できる限りの経費削減が要請された。

(5) その他

ASTM の目次を送付するので、必要な規格がある場合は事務局に連絡する。

赤本の解説の電子原稿が見つかったことが報告された。

作業工程の再確認を行った。

次回の室内試験規格・基準委員会は、平成 20 年 3 月 6 日（木）10：30～17：30、場所は地盤工学会会議室で開催する。各 WG は、3 月 3 日（月）までに JGS 基準を JIS 書式化したものおよび解説の進捗状況を事務局に提出する。